

Column

「ベネッセ様
ヒアリングより」

(株)ベネッセコーポレーション
Parenting 事業本部
出産育児事業部 ブランド推進課
山本雅弘様にお話を伺いました。

お父さんの育児参加がここ3年位でがらりと変わったように感じられます。厚生労働省の次世代育成支援対策推進法ができ、企業も父親の育児参加に積極的に取り組むようになったことが背景にあるようです。またベビー用品にもパパ向けのかっこいいものがでており男性が使用してもおかしくないファッション性、機能性の高いベビーカーのニーズの高まりが認められる中、メディアもお父さん向けの子どもの教育を考える雑誌が増えており、ベネッセでも3年ほど前からパパ向けの付録を『たまごクラブ』に付け、読者からの評判も良く、最近では年2回程度の定番付録となりつつあります。当分この傾向は続くのではないのでしょうか？

Notes

お風呂の事故を
防ぐために

**お風呂には楽しいことがいっぱいですが、危険なことも潜んでいます。
注意事項を守って安全に楽しく入浴しましょう。**

- 1 1～4才の事故による死亡数の約1/3は溺水事故で、
その中で最も多いのが浴槽内の事故です。
子どもが乳幼児の間は入浴が終わったら必ずお湯を抜き、
浴槽にフタをするよう心がけましょう。
- 2 浴室に子どもが入れないように、入り口の子どもが届かないところに
鍵を付けると安心です。
- 3 やけどを負わないようにお湯の温度には十分気を配りましょう。
- 4 浴槽内や洗い場の床は滑りにくい配慮をしたものを選びましょう。
- 5 子どもだけで入浴させたり、遊ばせないようにしましょう。
- 6 浴槽内にもぐらないようにさせましょう。
- 7 風呂のフタや浴槽の縁に立たせないようにしましょう。
- 8 子どもの入浴中には決して目を離さないようにしましょう。